

令和2年度実施事業一覧

H30事業名	部署名	開始年度	事業の目的	現在の事業概要
民間企業経営者に学ぶ組織リーダー養成研修	総務課	2016	民間経営者の経営感覚や戦略を直に学ぶことを通じて、組織活性化のための方策やトップに求められる能力等を理解するとともに、行政経営のヒントになるような課題解決力・組織のマネジメントに必要なリーダーシップ等の修得を目指す。	■コンセプト 経営リーダーシップのある職員 ■研修内容 課長補佐級以上の職員を対象にした大手企業経営者等による講義 ※コスト意識、仕事の進め方(PDCA)、グローバル思考といった民間手法や経営指標、また、民間企業を取り巻く最新の動向などについて、企業経営者の考え方、戦略やビジョンを直に学ぶ。
賢い消費生活啓発事業(寸劇による消費者契約被害予防啓発)	市民窓口課	0	消費者契約被害が増加している中、寸劇を通じ、わかりやすく被害予防を啓発する。	市内において年間4会場以上で寸劇を上演しわかりやすく被害予防を啓発する。
災害ボランティアセンター連絡会支援事業	市民まちづくり課	2005	平時より大規模な自然災害に備え、災害ボランティアの活動拠点として設置される「災害ボランティアセンター」の活動を支援する。	災害ボランティアセンターのスタッフを養成する研修会および関係団体による連絡会を定期的に開催し、その活動を資金的・組織的に支援する。
在住外国人生活支援事業	市民まちづくり課	2006	在住外国人に日常生活に必要な生活情報を提供することで、在住外国人の生活の利便を図り、在住外国人が暮らしやすく、地域に融和する日常生活環境を整える。	生活情報の提供や生活相談などの在住外国人に対する生活支援を行うにあたり、市内部の多文化共生連絡会議さらに同連絡会議と国際交流関係市民団体や外国人市民との懇談会を開催して意見をもらいながら進めていく。
サバユシ総会事業	市民まちづくり課	2017	市民主役条例推進委員会からの第三次市民提案(平成28年7月26日付け)に基づき、より幅広い層の市民が「自分も市民の一員(主役)だ」と思ってもらえるような集会「(仮称)サバユシ総会」を実施することで、市民主役のまちづくりにおける市民の理解浸透と底辺拡大を目指す。	これまで個別に実施してきた「市民主役フォーラム」「さばえ未来会議」を統合し、「市民主役のまちづくり」の事業や成果を市民がストレートに実感でき、市民自身でも評価するような事業に組み替えて実施する。
多文化共生(生活支援)推進事業	市民まちづくり課	2006	同じ地域に暮らす隣人として地域住民と在住外国人とのあいだの相互理解を育むことで、誰もが住みやすい多文化共生のまちづくりを目指す。	①防災啓発事業等・・・市内に住む外国人市民を対象に、防災意識の向上を図るとともに、要望に応じ外国人市民を市民国際交流員として市内各所に派遣し、相互理解を図る。 ②在住外国人生活相談への通訳者等派遣事業・・・外国人市民が日常生活を営むうえで必要な相談支援のための通訳者等の派遣を行う。
区長通送業務委託事業	市民まちづくり課	0	区長通送にかかる各課の書類等を集約して適宜配布することにより、市民に対して市政運営全般にわたる情報の提供を行う。	毎月15日頃、各課に対して区長通送する書類等の提出を求め、毎月25日に各区長宅に配布する。
市民まちづくり応援団養成講座	市民まちづくり課	2013	地区におけるまちづくりに意欲のある人のうち、人材の掘り起こしや、持続可能な地域運営の基盤づくり、人と人をつなげるコーディネーターに興味のある人材を発掘し、人材育成を図る。	市民主役条例推進委員会地域自治部会が中心となり、地区のまちづくりに関して、人材育成や組織運営、人の輪づくりなどに関する内容の講座「市民まちづくり応援団養成講座」をワークショップ形式で開催する。発掘した人材を「市民まちづくり応援団コーディネーター」としてグループ化し「応援団」を結成。人材登録をし、地区独自のまちづくりに活用していただく。
防災資機材備蓄管理事業	防災危機管理課	0	災害発生に備えるため、災害時に必要となる資機材の整備と維持管理、避難所等で使用する毛布等の備蓄を計画的に行う。	①携帯電話や防災無線等資機材の整備と維持管理、②市内10地区の防災資機材倉庫の維持管理、③防災資機材の計画的な備蓄
防災リーダー養成講座事業	防災危機管理課	2009	防災リーダーを養成することにより地域や町内の防災体制の確立および減災知識の周知を図り、災害や防災に関する知識を習得するための防災リーダー養成講座を開講する。	各町内で防災活動に意欲のある者を対象に地域防災リーダー養成講座を開催し、修了者に受講修了証を交付する。
子ども防災チャレンジ親子講座と小学・中学防災出前講座	防災危機管理課	2016	子どもを対象に防災学習と防災体験を通じて、災害時に生き抜くことができる知識を深め、地域防災力の担い手を育成する。	希望参加型による防災学習。親子の参加希望者を募り、1日かけ災害時における家族の役割、災害から身を守り生きる力を体験しながら学び育む防災学習。小中学校から市に依頼のある防災出前講座(防育)について出前講座を行う。
【防育事業】地区防災出前講座	防災危機管理課	2016	地区単位において防災に関する講座を開き、地域の防災力の向上を図る。	地区単位、公民館単位で市に依頼のある防災出前講座(防育)について出前講座を行う。
【防育事業】自主防災組織研修	防災危機管理課	2016	地区単位において防災に関する講座を開き、地域の防災力の向上を図る。	年1回開催される自主防災組織研修の企画・運営
空き家よろず相談業務	防災危機管理課	2020	年々件数が増えている空き家に関する相談・通報について、定期的に相談会を開催し、空き家の解消を図る。	防災危機管理課職員1名が、空き家の近隣住民や区長などからの相談を随時受け付けている。
男女共同参画啓発事業(情報誌発行)	めがねのまちさばえ戦略課	2004	ジェンダー、固定的性別役割分担の見直しやドメスティックバイオレンス、セクシャルハラスメントなど女性に対するあらゆる暴力の根絶および男女共同参画ならびにワーク・ライフ・バランスの推進に関する意識を高揚する。	男女共同参画等に関する情報紙・パネル展・広報誌等での啓発を行う。
男女共同参画推進大会開催事業(推進大会開催)	めがねのまちさばえ戦略課	1996	男女共同参画推進に関して、広く意識高揚を図り、機運を盛り上げる。	男女共同参画推進に関する関係者や市民が参加し、男女共同参画推進大会を開催する。
男女の社会参画促進事業(男と女共生講座等)	めがねのまちさばえ戦略課	2003	これまで政策方針決定の場への参画の機会が少なかった女性が、社会に対する関心を高め、男性も仕事重視の生活を見直し、現在の課題などを共に学ぶことにより、男女共同参画社会の推進やワーク・ライフ・バランスの意識改革を図ることにより女性の社会参画の促進を図る。	男女共同参画社会実現のための社会参画講座や地域の課題に対する自主学習活動等の支援および男女共同参画ネットワーク理事や男女共同参画地域推進委員会委員、男女共同参画女性人材リスト登録者等に対する研修を行う。
ワーク・ライフ・バランス推進業務	めがねのまちさばえ戦略課	2018	ワーク・ライフ・バランスが進まない企業の業務改革を個別に診断して、企業の働き方改革を促し、育児・介護が原因で離職する社員の軽減を図るとともに、企業の成長を促す。	鯖江市内で社員のワークライフバランスの向上(離職率低下やモチベーション向上、女性の働き方改革)を志す中小零細企業に対して、改善点や施策のアドバイスを実施し、働きやすい職場環境づくりを推進する。
選べるワークスタイル推進事業	めがねのまちさばえ戦略課	2018	あらゆる人々が自分の能力を発揮し、希望に合った働き方を選択できるよう、新しい働き方を実践している企業の取組みを紹介する。	結婚や出産と同時に離職する女性に対し、テレワーク(在宅勤務、サテライトオフィス)子連れ勤務、フレックスタイム制など新しい働き方を実践している企業の取組みを紹介し、ライフスタイルに合わせた働き方を提案する。

令和2年度実施事業一覧

H30事業名	部署名	開始年度	事業の目的	現在の事業概要
男女共同参画地域推進事業(地域啓発推進事業)	めがねのまちさばえ戦略課	2011	地域におけるジェンダー、固定的性別役割分担の見直しやドメスティックバイオレンス、セクシャルハラスメントなど女性に対するあらゆる暴力の根絶および男女共同参画ならびにワーク・ライフ・バランスの推進に関する意識を高揚する。	地域における男女共同参画等推進するため、地区ごとに男女共同参画啓発事業を開催する。
「全国OCサミットin鯖江」開催事業	めがねのまちさばえ戦略課	2016	様々な世代と交流し互いに学習し合って連携を強くすることで、まちづくりを強固なものするとともに、埋もれたリーダーを発掘する。	単なる参加ではなく参画するという主体性を引き出すため、ワークショップ等により団体の事業等の見直し(取捨選択)や意識の改革を促す大会を開催する。
シェアリングシティさばえ推進事業	めがねのまちさばえ戦略課	2019	シェアリングエコノミーをSDGs達成に向けた一つの手段ととらえ、本市の実情にあったセミナーを開催し、市民の遊休資産やスキルのシェアに向け、サービス登録支援や利用促進を図る。	・セミナーの開催 ・シェアエコ開拓支援 ※シェアエコ実証実験事業は商工政策課で実施 ※予算額は、事業費963からシェアエコサミット参加旅費を除いたもの
「ふるさと鯖江の日」記念事業 ※記念コンサート部分のみ	秘書広報課	2009	先人が築いた歴史、伝統、文化、産業、そして豊かな自然とすばらしい環境など、これらすべての財産を市民のかけがえのない「宝」として永遠に守り育て次世代に引き継ぎ、愛着を深めていくために、鯖江市が誕生した日である1月15日を「ふるさと鯖江の日」と定め記念コンサートを開催する。	記念イベントの開催を通じ、先人の功績やふるさとの「宝」に触れる機会を提供し、これらを活用した市民の自発的なふるさとづくり運動を推進する。
ITのまち鯖江推進事業	情報統計政策課	2011	鯖江市には全国的に活躍している元気なIT企業があり、市もITのまちさばえとして、オープンデータの推進や動画の配信などITを活用する施策をおこなっている。今後、ITのまちさばえを一層推進するためにIT推進フォーラムを開催する。	ITのまちさばえを推進するため、全国でITのまちづくりで活躍されている方々によるIT推進フォーラムを開催する。
ITに親しむ講座事業(IT活用等)	情報統計政策課	2014	ITのまち鯖江として、市民生活の向上、デジタルデバイド(情報格差)解消のために、ITに親しむ講座(facebook、iPad(タブレット))を開催する。	facebook、twitterは、公式ホームページと同様に災害時にも有効な情報ツールであることから、市民を対象に講習会を開催し活用する市民の増加を図る。
いきがい講座	長寿福祉課	0	60歳以上の高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、長寿を喜びあえる社会を醸成する。	月2-4回 講座を開催 利用者負担 月額500円+材料費 開催場所、講座内容 アイアイ鯖江:陶芸、木彫、水墨画、絵画、籐工芸、デジタルカメラ、すこやかマージャン、筋力アップ いきいき未来館:ペン習字、折紙、ハーモニカ、マジック 市民ホールつじ:太極拳 新横江公民館:コーラス、旅行英会話 ユーカルさばえ:ヨガ、健康体操 市民活動交流センター:パソコン
認知症サポーター養成講座	長寿福祉課	2018	認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、地域のあらゆる人々に対し認知症についての正しい知識の普及啓発を実施する。	地域住民(学校、企業、団体等を含む)に対し、指定のテキストを活用して、認知症キャラバンメイトを講師とした認知症サポーター養成講座を開催する。
出会い交流サポート事業	子育て支援課	2005	未婚の男女が交流できる場を提供することにより、晩婚化の進行を抑制し、未婚率の低減を図る。	平成24年度から提案型市民主役事業として実施しているもので、未婚の男女が交流できるイベント等の開催を公募により、柔軟なノウハウを持つ市内の団体に委託することにより、多くの未婚の男女が参加してもらえる出会い交流の場を提供する。
地域子育て支援センター事業(子育てサポーター養成講座事業)	子育て支援課	1998	子育てに関する知識や実技を講座形式で学ぶことで、地域ぐるみで子育て中の親子の見守りやサポートを行い、安心して子育てできる環境づくりを図るための人材を養成する。	年に2回、実習を含む6回シリーズの子育てに関する講座を実施し、修了生に対し「子育てサポーター」の認定を行う。修了生には、地域での子育て事業に主体的に関わっていただく。
出会い交流サポート事業(さばえものづくり合コン)	子育て支援課	2015	県内外の結婚を望む若者の新たな出会いを「ものづくり」を通して創出することにより、若者の結婚を応援し、市内の交流人口並びに定住者増加を目指す。	地場の特産技術(漆器・眼鏡・繊維)、自然環境を活用し、ものづくりワークショップを実施する中で、県内外の若者の出会いの場を創出し、コミュニケーションや交流を深め、カップリングを行う。
保健対策推進事業(食と健康・福祉フェア)	健康づくり課	0	市民の自主的、主体的な健康づくりを推進する。	健康・福祉・食をキーワードとし、すべての市民が生涯を通じて健康でいきいきとした生活を楽しむための様々な情報発信を行い、健康・福祉・食への関心を高めるとともに、福祉の向上を図ることを目的として開催する「食と健康・福祉フェア」を開催する。
市町村保健対策推進事業(まるごと眼の健康づくり事業)	健康づくり課	2017	子どもから大人まで、誰もが楽しみながら目のことを学ぶ機会を設け、全世代を対象に目の体操を浸透させることで、さばえならではの目の健康づくりを応援する。	眼のトレーニング事業や「さばえめいく(眼育)フェア」、「さばえ食と健康・福祉フェア」における眼の健康に関するイベントを実施する。
サテライトオフィス誘致事業	商工政策課	2017	地方への都市部企業のサテライトオフィス開設への動きが活発化している中、この好機を活かすべく、本市の「ITのまちさばえ」としての先駆的取組などの魅力を発信することで、IT系企業のサテライトオフィスを誘致し、若者や女性に魅力的な雇用創出や空き家の利活用を目指す。	都市部でのセミナー、鯖江市視察研修を継続的に実施することにより、本市の執務環境に魅力を発信し、IT系企業のサテライトオフィス誘致を目指す。
鯖江市役所JK課プロジェクトサポート事業	商工政策課にぎわい推進室	2020	これまで市政に関しては「無関心層」と言われてきた女子高校生によるまちづくりチーム(鯖江市役所JK課)を結成。自らが企画した地域活動を大人を巻き込みながら実践することを通じて、若者や女性が進んで行政参画を図り、ふるさとへの誇りを全ての世代で共有していく新たなモデル都市となることを目指す。	JK課プロジェクトの運営サポート事業。 JK課メンバーの自発的な活動の推進をサポートするため、会議拠点をJR鯖江駅2階「tetote」にて運営する。 提案されたJK課自主企画の具現化を検討し、実現に向けて関係機関と連絡調整を随時行いながら実施する。
若者による地域活性化推進事業	商工政策課にぎわい推進室	2009	地域の将来を担う若者たちが連携し、地域において自主的に活動する。また、市内外の若者のアイデアと行動力を活かしたまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。	・地元若者にセミナーの実施や県外学生等との交流を行う。 ・県内外の若者が地場産業を活用した地域活性化のプランを提案し、そのプランの実現に向け活動する。 ・地元の大学生や過去の参加者が中心となり、地元住民・関係機関・団体と協働して地域活性化プランコンテストを実施する。 ・地域住民や団体・地元学生との交流を深め、協働連携活動の推進や地域活性化の課題の解決に向けて活動する。

令和2年度実施事業一覧

H30事業名	部署名	開始年度	事業の目的	現在の事業概要
日中外国語大学と地域住民との「絆」交流促進事業	商工政策課にぎわい推進室	2012	日中交流学生団体「京英会」が主催する日中相互訪問プロジェクト～現地語でつなぐ絆～において、鯖江市日中友好協会と鯖江市民主役条例推進委員会の協力のもと、中国人学生や東京在住の学生に鯖江の豊かな自然や文化を紹介するとともに、地域住民との膝を交えた日中交流により、大都市圏だけでなく、中国社会での鯖江の知名度アップを図り、地域住民による日中友好の絆を構築する。	北京外国語大学を中心とした中国人学生約15人と東京外国語大学を中心とした日本人学生約15人の日中の大学生計約30人が、「日中の若者と高齢社会」をプロジェクトテーマに調査研究を行い、地域住民との交流を交えながら鯖江市に滞在するにあたり、ホスピタリティとして地域交流にかかる支援を行う。
街なか彩り推進事業	商工政策課にぎわい推進室	2017	西山公園から中心市街地にかかる植樹柵等に花を植え、街なかに彩りをもたらす。	中心市街地にある植樹柵等への春秋2回の花の植替えを行うことで、街なかに彩りをもたらし観光客を歓迎する。地域住民だけでなく、周辺の小学校等とも連携し、環境美化活動を推進する。
地産地消推進「さばえの味再発見」事業	農林政策課	2011	市食育推進計画に基づき、市民が健康な心身を養い、豊かな人間性を育むため、食育に関する施策を総合的に推進する。「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、地産地消の推進とともに地域の文化や価値観を次世代へ伝える役割を果たす。	提案型市民主役事業として委託して実施。丹南高校の生徒が四季折々に農業体験や食農体験を行い農産物の地産地消を啓発する。
食の安全安心講座	農林政策課	2012	市民が自立した消費者として食に関する情報の収集や知識の習得を推進し、より賢く食品の選択ができるように、食の安全および消費に関する講座を開催する。	①座学講座 参加者100名 講座90分 ②体験講座 参加者60名 講座2時間×2回
環境活動表彰事業	環境政策課	2000	市民や市民団体の環境保全に関する取り組みを促進し、本市における環境活動の活性化を図る。	「環境まちづくり活動」を積極的に実践している個人または団体を市民目線・市民主役により発掘し、優れた活動を顕彰するとともに、活動事例を広く市民に紹介することで、市における環境活動の活性化を図る。
まち美化活動表彰事業	環境政策課	2017	市民、市民団体による道路や公園などの公共空間の美化活動の顕彰を行なうことにより、市と市民の協働による美しいまちづくりを展開する。	まち美化活動に積極的に取り組む地区、町内会等を表彰する。
畜犬登録事業	環境政策課	0	狂犬病予防法に基づき、飼犬の登録・予防注射の徹底を図る。	飼犬登録および予防注射の啓発を実施する。
廃棄物分別啓発事業	環境政策課	0	循環型社会の形成を目指して、一般廃棄物の分別排出の徹底を啓発し、ごみの減量化、資源化の向上を図る。	ごみの分別表を全戸に配布して、分別徹底を図るとともに、広報やホームページを活用して、ごみの資源化意識の向上に努める。
ごみ減量化・資源化市民啓発事業	環境政策課	0	ごみの分別や減量の目的・方法について、広く市民に啓発し、家庭から発生するごみの減量化・資源化をめざす。	ホームページや広報等を通じて広く市民に啓発する。また、見学コースについても適時見直すなど、見学会の内容を常に検討を行い、住民のごみ減量化・資源化意識の向上を図る。
グリーンカーテン普及促進事業	環境政策課	2011	家庭、事業所、学校等における夏場の省エネを推進するとともに、地球温暖化防止意識を高めるための目に見える啓発手段として、また、環境市民育成のための環境教育の一環として①「グリーンカーテンコンテスト」を実施する。また、市の取組として②市庁舎グリーンカーテンも継続する。	①「グリーンカーテンコンテスト」説明会参加者・応募者全員にゴーヤの苗を無料進呈し(個人2本団体10本)、家庭等でグリーンカーテンを栽培してもらう。また、グリーンカーテンの効果やエコに対する取組等を記載し生育の写真からなる「育成レポート」の提出をコンテストの応募条件とし、表彰者を決定する。 ②市庁舎グリーンカーテンは現行と同規模で行う。
さばECO(鯖江っ子)ストップ温暖化チャレンジ事業 ※一部	環境政策課	2012	鯖江市地球温暖化対策地域推進計画の目標達成に向け、市、市民、事業者で構成する協議会を設置し、地域のCO2削減に向けた取り組みの具体的な推進について協議する。また、平成27年度までに25%(5500世帯)における家庭のCO2削減を目指し、家族でCO2削減に取り組むチャレンジファミリー登録制度を実施する。さらに、夏季と冬季における家庭での省エネ(節電)を推進するため、節電チャレンジ大作戦を実施する。	・「さばECOチャレンジファミリー」登録制度を実施(平成24年度は1000世帯以上の登録)し、1家族1日2kgのCO2削減に挑戦 ・さばえ版環境家計簿『さばえECOライフブック』の作成、配布 ・省エネナビ、エコワットの貸し出し(CO2の見える化により省エネ意識の高揚を図る) ・節電ダイエットチャレンジ大作戦(夏季、冬季の各3ヵ月)の電力使用量削減 ・(仮称)ストップ温暖化さばえ推進協議会の設置(学識経験者、市民代表、事業所代表、学校関係、団体代表等)
COOLCHOICE & SDGs普及啓発事業	環境政策課	2019	環境イベントや講演会において、COOLCHOICE(クールチョイス)やSDGs、エンカル消費などの啓発普及に取り組む。	学校や公民館で行う落語でのSDGs講演、環境フェアでの創作落語会、SDGsカードゲーム開催、食品ロスを含めたエンカル消費展示啓発
日野川砂礫河原再生事業(体験型イベントのみ)	土木課	2012	中長期的に市民による川の利用促進、砂礫河原再生状況や水辺空間の安全確認の為、川を使った体験型イベントを実施し、川への興味関心を深めることにより河川愛護活動の活発化につなげ、鯖江のまちづくりの魅力向上を図る。	親水体験(学ぼう!遊ぼう!河原へGO!):川流れ体験、鮎釣り、水質・水生生物調査、ボート体験
西山公園松堂庵呈茶もてなし事業	都市計画課	2012	西山公園嚮陽庭園に整備する茶室(仮称)「松堂庵」で来園者に呈茶のサービスを行うことにより、西山公園および茶室の利用を促進するとともに西山公園の魅力を増進する。	提案型市民主役事業により、年間20回、有料で呈茶のサービスを実施する。なお、水は、県の「ふくいのおいしい水」に認定された「榎清水」、「桃源清水」、「三場坂清水」の水を使用する。
クリエイティブ教育都市事業	学校教育課	2015	現在、生活している中で、スマートフォンやタブレットを筆頭に、炊飯器やテレビに車など様々なプログラムが動いている。その中で、プログラムの仕組みを知るプログラミング教育は大変重要であり、学校教育でプログラミング教育が行われるまで「IchigoJam」を使ったプログラミングクラブ活動を支援する。	IT社会を支えていく子ども達にプログラミングなどITの将来を展望した技術を習得してもらうため、ichigojamを利用し、小中学校のプログラミングクラブを支援していく。
体育大好き支援事業(小学校)	学校教育課	2016	各小学校において、「体づくり」、「器械器具を使った運動」、「ゲーム」、「表現リズム」の授業に専門的な知識を持った講師を派遣することにより、児童の体力向上と教職員の資質向上を図った。	体育支援事業 ※体づくり、器械器具を使った運動、ゲーム、表現リズムの授業を実施する。

令和2年度実施事業一覧

H30事業名	部署名	開始年度	事業の目的	現在の事業概要
体育大好き支援事業(中学校)	学校教育課	2016	各中学校において、「ダンス」の授業に専門的な知識を持った講師を派遣することにより、生徒の体力向上と教職員の資質向上を図った。	体育支援事業 ※ダンス領域の授業を実施する。
家族ふれあい事業	生涯学習・スポーツ課	2011	青少年健全育成のための環境づくりとして、家庭や家族ふれあいの普及啓発活動等を行うことで次代を担うひとづくりを推進する。	「地域や家庭の教育力向上」の推進に向け、親と子の絆を深め、鯖江の未来を担う子どもたちの育成事業の実施に取り組む。市民主役条例に基づき提案型市民主役事業として、光でつなぐ家族の絆(西山公園イルミネーション事業)を行う。
幼児体操ふれあい事業	生涯学習・スポーツ課	2007	幼児期における基礎体力、運動能力の向上に寄与するとともに、「体操のまち鯖江」を推進する。	市内保育所等に通う児童を対象に、安全に体操指導が行える指導者により、鉄棒、マット、跳び箱等の運動指導を行う。
近松講座	文化課	1996	近世の文豪近松門左衛門が鯖江で幼少期を過ごしたことにちなみ、その史実を市民に広く周知することにより、その歴史や人物像、作品に興味と理解を深めるとともに歴史資産を活用したまちづくりを推進する。	近松入門講座の開催や外部講師による専門講座、近松ゆかりの地めぐりバスツアー等を開催する。
まちかど歴史浪漫コンサート	文化課	2006	文化財建造物を舞台としたイベントを開催することにより、文化財の保存と活用に関する理解を深めるとともに、まちづくりの貴重な素材としての理解につながる機会を提供する。	文化財建造物の内外を舞台として会場を設営し、音楽等コンサートを行う。その際には、文化財等をライトアップし、市民が直接、目に触れる機会を提供する。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止・縮小した事業も含まれています。